

令和8年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>1 「キャリア教育」の視点、「シチズンシップ教育」の視点を踏まえて、教科横断的な授業を定着させる。</p> <p>2 ICTの利活用を推進する。</p>	<p>1-① これまで作成した学習内容表等を活かした教科横断的な様々な学習活動を実践する。</p> <p>1-② 生徒の実態に応じたキャリアパスポートの完成を目指し、様式の見直しを行う。</p> <p>2 ICT機器を活用した効果的な学習を推進する。</p>	<p>1-① 各教科の学習内容表や教科横断的かつ系統性のある学習内容表を参考にした年間指導計画を作成する。また、定期的に各学習内容表と年間指導計画を確認する時間を設ける。授業で使用した教材等をまとめ、共有し系統性のある学習を行う仕組みを整える。</p> <p>1-② 生徒にとってわかりやすく、使いやすいものになるよう項目や形式等を検討する。</p> <p>2 一人一台端末の活用状況を共有する。また、教員のニーズに応じた研修を行い、スキル、教材等を蓄積、共有していく。</p>	<p>1-① 学習内容表等を活かした教科横断的な学習活動を展開することができたか。</p> <p>1-② キャリアパスポートの新書式案を完成させ、運用開始に向けた準備を整えることができたか。</p> <p>2 一人一台端末の活用状況を共有できたか。また教員のニーズに応じた研修を行い、効果的なICT活用を推進できたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>1 生徒個々の長所、強みに着目する視点を重視して、実態を把握し、ニーズに応じた指導、支援を行う。</p> <p>2 生命（いのち）の安全教育を推進し、生徒が安心して学べる環境をつくる。</p> <p>3 生徒自らの安全確保につながる意識を育てる。</p>	<p>1 個々の生徒のニーズや変容を捉えた個別教育計画等の作成を行い、指導に活かす。</p> <p>2 自分自身を大事にすると同時に他者も大事にし、その関わり方についても学ぶ。生徒が自立するための視点から安全・安心な環境をつくる。</p> <p>3 防災教育で学んだことを、家庭での防災活動に活かす。</p>	<p>1 令和8年度より新たに導入する個別教育計画作成会議等を中心に、生徒の学習活動の取組みの様子や変容等の情報共有を行い、個別教育計画に盛り込む。</p> <p>2 「〇〇教室」を継続するとともに、いじめや人権、命の授業についての学習を展開する。自立への視点からの生徒指導、保健給食等のマニュアル等の見直しを行い業務内容を浸透させる。</p> <p>3 家庭で実践可能であることを意識して計画を立てる。体験を取り入れ、発災時の具体的な行動を想像できるようにする。</p>	<p>1 個々の生徒のニーズや変容を捉えた個別教育計画等の作成を行い、指導につなげることができたか。</p> <p>2 「〇〇教室」やいじめ、人権学習等で自分や他者を大事にする意識が育ってきたか。マニュアル等の見直しを行い、業務がスムーズに遂行できているか。</p> <p>3 防災教育で学んだ活動を、家庭での具体的な行動として考えることができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>1 将来の充実した生活を目指して、生徒個々の発達段階に応じた進路指導、支援を行い、希望する進路の実現と定着支援を図る。</p>	<p>1 3学年分の「職業」年間指導計画の実践を通して、成果と課題を整理し、系統的な進路学習の充実を図る。</p>	<p>1 3年計画の進路学習のどの段階で、どんな学習を実践したか、各学年で振り返り、成果や課題を整理する。</p>	<p>1 3年計画の進路学習を意識して授業を展開することができたか。成果や課題を学部で共有し、進路学習の充実につなげることができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>1 学校と地域が連携・協働して、共生社会の実現に向けた活動を行う。</p> <p>2 支援教育の充実を目指し、センター的機能を発揮する。</p> <p>3 HPを活用した情報発信を充実させる。</p>	<p>1-① 生徒の自己肯定感や自己有用感を養う地域と連携した活動を実践する。</p> <p>1-② 発災時の状況を意識し、地域の中でできることを考えることができる。</p> <p>2 予防的支援の視点をクラスや学年でも意識できるよう相談のフィードバックを活かす。</p> <p>3 昨年までのニーズ調査の結果をもとにHP内容の改善を図る。また、すぐるの活用について検討する。</p>	<p>1-① 前年度の実践を事前学習に取り入れたり、事後学習で生徒自身の発表を取り入れたりして事前事後学習を充実させる。HPで地域へ活動の様子を発信する。</p> <p>1-② 避難所体験で地域の方と一緒に活動し発災時の状況を意識し、ロールプレイング等で、具体的な役割について考えられるようにする。</p> <p>2 1年生の相談週間フィードバックの時間に行っている予防的支援会議について紹介し、クラスや学年でも取り組む時間を設ける。</p> <p>3 HPに校歌等を載せたり、進路や作業関係のページを作ったりする。すぐるによる情報発信を行う。</p>	<p>1-① 自己肯定感や自己有用感を高めることができたか。HP掲載した活動の様子の感想を収集し、生徒に返すことができたか。</p> <p>1-② 発災時の地域の中での自分の役割について考え、ロールプレイング等で具体的な活動をイメージできたか。</p> <p>2 予防的支援の視点を意識することができたか。学年で取り組んだ結果、成果について学部で共有する。</p> <p>3 校歌や進路、作業関係のページを作れたか。また、校務支援システム(すぐる)による情報発信ができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>1 教職員の専門性や人権意識、服務規範意識の向上を図る。</p> <p>2 教職員の健康管理を徹底する。</p> <p>3 業務の効率化や職場環境の整備と促進を図る。</p>	<p>1 研修をとおして、人権や事故・不祥事防止への意識を深める。</p> <p>2 健康診断の実施状況を把握し、要医療や高ストレス者へ受診や面談を行い、教職員の健康確保につとめる。</p> <p>3 業務分担見直しの結果を検証し、業務内容、業務量の把握につとめる。ICTを活用した業務の効率化を進める。ICTを活用した教材の学部内での共有化を進める。</p>	<p>1 研修内容、実施方法、また振り返り、また各自の点検を工夫して一人ひとりの理解を深める。</p> <p>2 勤務時間の客観的把握、ストレスチェック等の受検率を上げる。健康管理に関する啓発資料や情報を周知する。</p> <p>3 業務分担の見直し結果を見える化する。環境整備、ICT活用により、業務の効率化を進める。ICTを活用した教材の共有に向けた仕組みを検討し、導入に向け試行する。</p>	<p>1 研修後にアンケートを取り、振り返ることができたか。また各自点検を実施できたか。</p> <p>2 勤務時間を把握し、ストレスチェック等の受検率を上げられたか。健康管理に関する啓発資料や情報を周知できたか。</p> <p>3 業務分担の見直し結果を見える化できたか。環境整備、ICT活用により、業務の効率化を具体的に進められたか。 ICTを活用した教材の共有化を進めることができたか。</p>